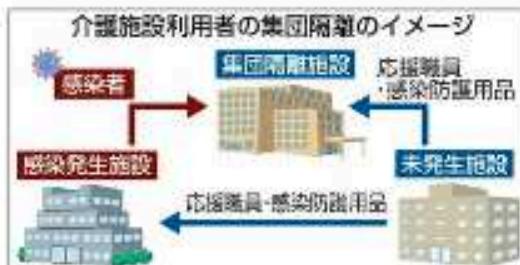
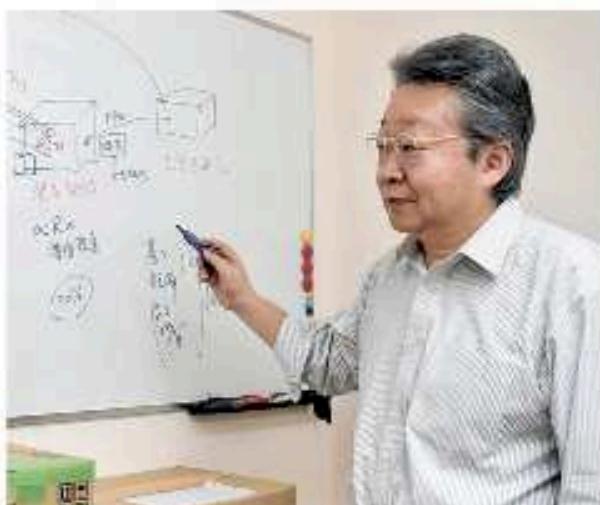


介護施設 枠超え連携



提「たなは一回の診
知症とともに考える」世
話人の山崎克也医師(59)。
仙台市泉区森の「いずみ
の杜診療所」で認知症の高
齢者を長年診療してきた経
験を生かして、より実践的
な内容を打ち出した。

集団隔離施設 確保を



介護施設の防止策を提言した山崎医師
＝仙台市泉区松森、いすみの杜診療所

（略）を別途のものと分けて説明するが、必ずしも該書が別冊であることはない。本編の各章は、必ずしも該書の各章と並んで、その順序で記述される。

認知症の高齢者が多く入居する老人介護施設で新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）が発生したら…。想定される職員不足による介護崩壊を防ぐため、感染した高齢者向けの建物の確保、医療・介護法人の枠を超えた応援体制の構築をめぐら、仙台市の医師が提言している。（報道部・宮崎伸一）

士官候補生の志願者の中には、
介護士人の枠を超えて、心 tako
に入る態勢づくりを訴え
る。

率にとどまらなくとも、すぐ、ストレレス軽減につながるほか、介護職員が節約とともに着替える必要がなく、防護用品を節約できる

刻な職員不足に陥りや
く、外部から人材を確保す
る必要があると判断した。
対策の実現には行政と
事業者が不可欠なため、山

山崎医師は「どの介護施設ででもクラスターが発生する可能性がある。最悪の事態を想定した準備が必要だ」と強調した。

「崩壊」防止へ仙台の医師提言

۱۷۳

食不足対策の核に想定

國學心語

新型コロナウイルスのクラスター発生に伴う調査不足が原因で、介護施設の危機に直面するケースが全国で相次いた。富山市の老健施設で起きた大規模クラスターでは、行政主導で介護士を派遣して対応し、「富山モデル」として注目を集めている。

富山市の老人保健施設「草山リハビリテーションホーム」で4、5月、集団感染が発生。入所者と職員の計59人が感染し、入所者が亡くなつた。

初めて感染者が確認され

たのは4月中旬。巡回指導によりや自らの巡回指導により動ききれない介護職員が続々と、深刻な人手不足に陥った。

発生から1週間後に出でたのは全職員64人のうちわずか1人で、入所者50人の介護を少人数でこなさざるを得なかつた。

市保健所の官房英明監修の予防説長(55)は「入所者食事が行き渡っているかどうかさえも心配になつて、と毎時を振り返る」と述べた。

介護環境の悪化際に危機感を抱いた半井山原は、

医師と看護師の派遣を困難に認めるところに、
介護関連の委員会と連携し、
応接介護士を募集した。ほ
人の坦懇を想えて介護士の
人が応じ、介護需要を土俵
上で防いだ。
　介護士の募集に当たり、
期間中の宿泊施設を提供し、
たり、PCR検査を無料で
受けられるようになりし
て環境整備を掛けた。
　宮崎課長は「医療機関や
介護協議会との人的なつながりに助けられた。第2波
に備え、体制強化を図つて
いる」と話す。

行政主導介護士を派遣

注目集める「富山モデル」

たのは4月中旬。巡回接触や自らの感染確率により出勤できない介護職員が続出し、深刻な人手不足に陥った。
発生から一週間後に出勤できたのは全職員64人のうち、介護士9人、看護師3人、介護職員52人だった。巡回接触医師と看護師の派遣を困難に認めたところに、介護関連の召募会と巡回接触の協議会と巡回接觸で防いだ。

因縁と義理の派遣を因縁機関に要請するとともに、介護関連の協議会と連携して、応援介護士を募集した。法人の垣根を超えて介護士が人が伸び、介護環境を工夫で防いだ。

期間中の症例検査料金を徴収したり、PCR検査を無料料金で受けられるようにしたりして患者満足度を上げた。
高齢課長は「医療機関などに助けられた。第2波に備え、体制強化を図っている」と話す。